

(仮称) ひたち若者がかがやきプラン策定の進め方について

1 背景

- (1) 令和2年3月策定の「第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「創生総合戦略」という。)策定時の調査・分析によると、日立市の人口減少は20代女性と30代子育て世代の若者の社会減の影響が大きく、その主な要因は「しごと」と「住まい」を求めるものとなっている。
- (2) また、日立市に対し魅力を感じていない傾向にあり、継続居住意向も低く、改善すべき点として、渋滞などの道路環境や、商工施設・娯楽の場の充実などの声が多く挙げられている。
- (3) これらのことを踏まえ、社会減対策としては、「しごと」「住まい」「まちの魅力」に関する3つの施策を重点的に取組み、若者の定住を促進し、人口減少を和らげ、市民一人一人が暮らす地域において豊かさと生活の充実感を享受できるまちを目指す。

2 目的

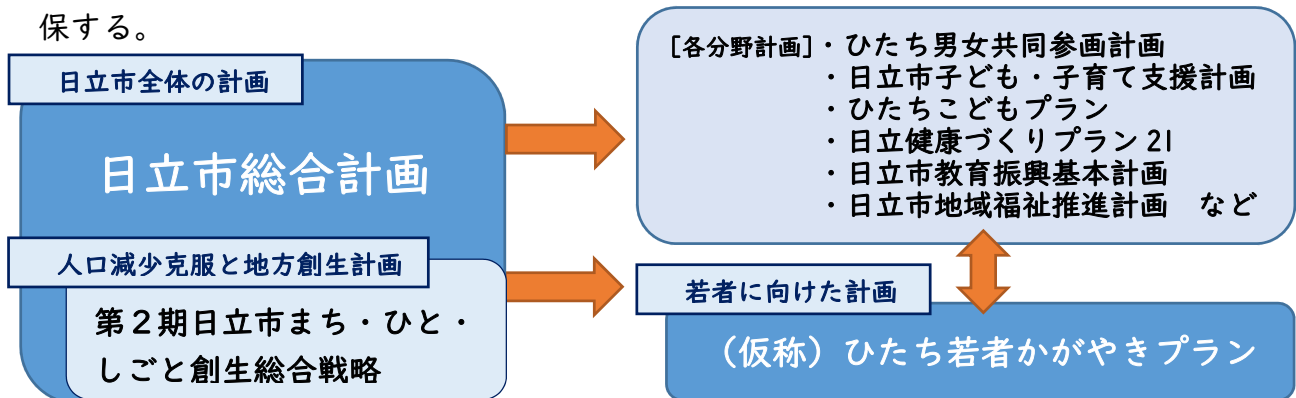
「第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で位置付けられた「まちの魅力」など、各種若者の支援について、若者世代が生きがいを持ってかがやき、住んでみたいと思える魅力を、若者世代の参画により創り出し実践できる仕組みや、支援する体制づくりを主眼に、実効性のあるプランとして策定する。

3 目指す姿 生きがいを持ち、かがやく若者であふれる日立市を目指す

- (1) 若者の自主自立な活動により、若者同士の交流拡大を促進し、若者がよりかがやくための施策の推進
- (2) 若者により、まちに活気とにぎわいを生み出せるような施策の推進
- (3) 若者が気軽に訪れることが出来る場所づくりの推進
- (4) 若者の活動を幅広く発信し、市のPRにつなげる

4 位置付け

「第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、若者世代の活躍と支援に関する仕組みづくりを推進する計画として策定し、「日立市総合計画」との整合性を確保する。



5 期間

令和3年（2021年）度から令和7年（2025年）度までの5年間とする。

※ 社会情勢の変化等があった場合には、必要に応じて見直しを行う。

6 策定体制

(1) (仮称) ひたち若者かがやきプラン策定委員会

ア 委員構成：15人で構成

イ 任期：委嘱状交付日から令和3年3月31日まで

(2) (仮称) ひたち若者かがやきプラン推進連絡会議

ア 委員構成：関係課長で構成する庁内組織（14人）

イ 任期：令和2年10月1日から令和3年3月31日まで

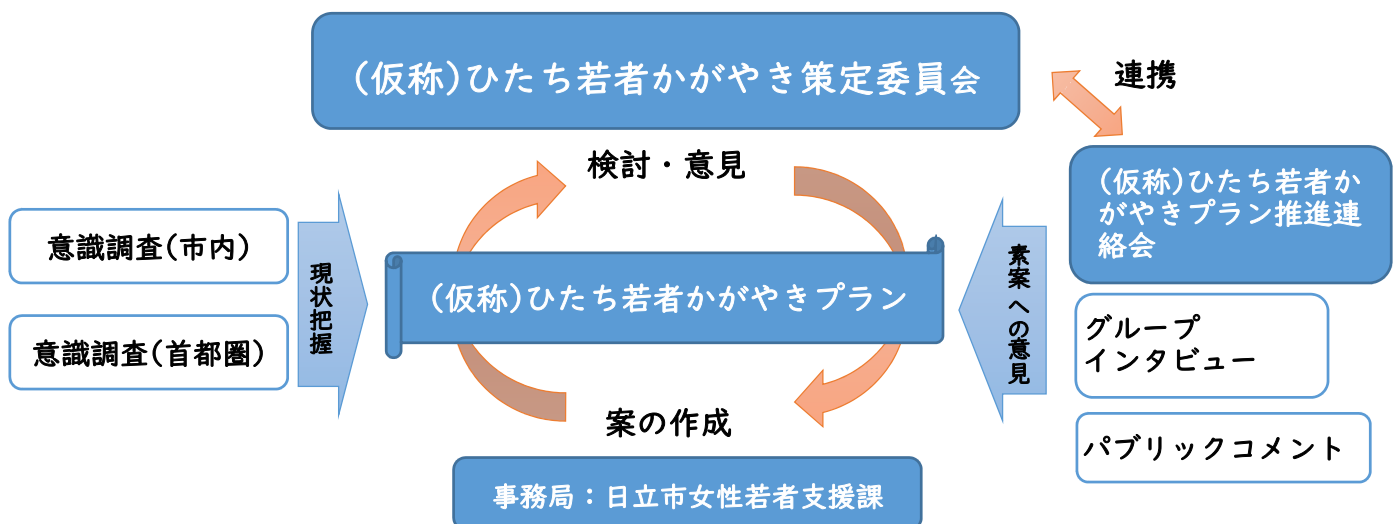
(3) 市民の意見反映

ア 日立市在住者（通勤通学含む）及び首都圏居住者（18～39歳）の意識調査

イ グループインタビュー（5団体程度 18～39歳予定）

ウ パブリックコメント

【策定体制】



(仮称) ひたち若者かがやきプラン策定委員会委員名簿

敬称略

No.	区分	所属・役職等	氏名
1	学識 経験者	茨城キリスト教大学教授	中島 美那子
2	若手 創業者	(株)ただいま代表取締役 常陸フロッグス Organizer/Mentor	和田 昂憲
3		茨城移住計画代表 常陸フロッグス Organizer/Mentor	菅原 広豊
4		(株)クレイモアエンターテイメント代表取締役社長	中村 俊仁
5		特定非営利活動法人子ども大学常陸理事長	山形 芙美
6		茨城オトナ女子会代表	高久 香里
7	各種 団体	日立市勤労者協議会副会長	鈴木 陽一
8		茨城県県北生涯学習センターセンター長	志摩 邦雄
9		日立商工会議所青年部会長	寺家 通浩
10		日立市各種女性団体連絡会監事	菊池 理可子
11	事業者	(株)茨城新聞社日立支社記者	湯浅 奈実
12	大学生	茨城大学工学部 3年	天坂 加奈子
13		茨城キリスト教大学経営学部 3年	菊池 晃平
14	市民	公募市民	大森 亮平
15		公募市民	松村 泰葉

以 上